

「聞き方に注意」

ルカの福音書 8章5~15節

1

種を蒔く人が種蒔きに出かけた。蒔いていると、ある種が道端に落ちた。すると、人に踏みつけられ、空の鳥が食べてしまった。また、別の種は岩の上に落ちた。生長したが、水分がなかったので枯れてしまった。また、別の種は茨の真ん中に落ちた。すると、茨も一緒に生え出てふさいでしまった。また、別の種は良い地に落ち、生長して百倍の実を結んだ。」イエスはこれらのことを話しながら、大声で言われた。「聞く耳のある者は聞きなさい。」ルカ8:5-8

2

弟子たちは、このたとえがどういう意味なのか、イエスに尋ねた。イエスは言われた。「あなたがたには神の国の奥義を知ることが許されていますが、ほかの人たちには、たとえで話します。『彼らが見ていても見ることがなく、聞いていても悟ることがないように』するためです。このたとえの意味はこうです。種は神のことばです。道端に落ちたものとは、みことばを聞いても信じて救われないように、後で悪魔が来て、その心からみことばを取り去ってしまう、そのような人たちのことです。ルカ8:9-12

3

岩の上に落ちたものとは、みことばを聞くと喜んで受け入れるのですが、根がないので、しばらくは信じていても試練のときに身を引いてしまう、そのような人たちのことです。茨の中に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らはみことばを聞いたのですが、時がたつにつれ、生活における思い煩いや、富や、快樂でふさがれて、実が熟すまでになりません。しかし、良い地に落ちたものとは、こういう人たちのことです。彼らは立派な良い心でみことばを聞いて、それをしっかり守り、忍耐して実を結びます。ルカ8:13-15

4

間違った聞き方(態度)

- 求めていない、関心がない。聞き流す。
- 自分を信じる。自信。他のものを信じる、他信、偶信
- 私たちは神に属していますが、**世全体は悪い者の支配下にある**ことを、私たちは知っています。また、神の御子が来て、**真実な方を知る理解力を私たちに与えてくださった**ことも、知っています。私たちは**真実な方**のうちに、その御子イエス・キリストのうちにいます。この方こそ、まことの神、永遠のいのちです。**子どもたち、偶像から自分を守りなさい。** 1ヨハネ5:19-21
- 「仰向けになって、神を仰ぐ。」

5

間違った聞き方(態度)

- 簡単に受け入れるが、簡単につまずき、捨てる。
- ご利益信仰、つまずき信仰
- イエス様に教わっても、助けられても、パウロやルカに教わってもつまずく人はつまずく。
- しかし、聞いても行わない人は、土台なしで地面に家を建てた人に似ています。川の水が押し寄せると、家はすぐに倒れてしまい、その壊れ方はひどいものでした。ルカ6:49
- 悔い改めから元に戻る。悪習慣、悪い癖、自分中心の癖。(「悪魔の手紙」CSルイス)

6

間違った聞き方(態度)

- この世と調子を合わせてはいけません。むしろ、心を新たにすることで、自分を変えていただきなさい。そうすれば、神のみこころは何かすなわち、何が良いことで、神に喜ばれ、完全であるのかを見分けるようになります。
ローマ12:2
- 救いはプロセス。

7

間違った聞き方(態度)

- 二人の主人に仕えることはできない。(マタイ 6:24)
- 自分の十字架を負ってわたしについて来ない者は、わたしの弟子になることはできません。(ルカ14:27)
- わたしのくびきを負ってわたしから学びなさい(マタイ11:29)
- 無条件の愛を無条件で受ける。

8

間違った聞き方(態度)

- あなたは世も世にあるものも、愛してはいけません。もしだれかが世を愛しているなら、その人のうちに御父の愛はありません。すべて世にあるもの、すなわち、肉の欲、目の欲、暮らし向きの自慢は、御父から出るものではなく、世から出るものだからです。世と、世の欲は過ぎ去ります。しかし、神のみこころを行う者は永遠に生き続けます。 1ヨハネ2:15-17
- 迫害より危険なものは、幸福、成功、繁栄、健康 順境？

9

正しい聞き方(態度)

- わたしのもとに来て、わたしのことばを聞き、それを行う人がみな、どんな人に似ているかあなたがたに示しましょう。その人は、地面を深く掘り下げ、岩の上に土台を据えて、家を建てた人に似ています。洪水になり、川の水がその家に押し寄せても、しっかり建てられていたので、びくともしませんでした。 ルカ6:47-48
- 主を驚かせた百人隊長の信仰 ルカ7:7

10

正しい聞き方(態度)

- 私たちも、一切の重荷とまとわりつく罪を捨てて、自分の前に置かれている競走を、忍耐をもって走り続けようではありませんか。信仰の創始者であり完成者であるイエスから、目を離さないでいなさい。 ヘブル12:1-2
- ローマの信仰は、「信仰の従順」従順な信仰
ヘブルの信仰は「信仰の忍耐」忍耐の信仰
信仰は長距離の障害レース(生涯レース)

11

正しい聞き方(態度)

- 聞く耳のある人は聞きなさい 8:8 大声で！
- うなじを固くする、心と耳に割礼を受けていない人たち、、、耳をおおい一斉にステパノに殺到した。使徒7:51-57
- というのは、人々が健全な教えに耐えられなくなり、耳に心地よい話を聞こうと、自分の好みにしたがって自分たちのために教師を寄せ集め、真理から耳を背け、作り話にそられて行くような時代になるからです。 2テモテ4:3-4

12

聞き方に注意

- イエス様の時代にも多くの方が信仰を捨てて離れた。問題はどこにあるか？
- 神は信仰を強制しない。自由を与えてくださった。自由には必ず責任が伴う。
- 神の前にへりくだって聞く耳(心)を持つ！